



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 酒井重工業株式会社
コード番号 6358 URL <http://www.sakainet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 渡辺 秀善

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3434-3401

平成23年12月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,823	10.4	340	246.1	279	—	183	—
23年3月期第2四半期	7,995	47.5	98	—	△32	—	△22	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 △41百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △238百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.32	—
23年3月期第2四半期	△0.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	24,056	12,840	53.3
23年3月期	24,239	12,947	53.4

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 12,829百万円 23年3月期 12,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
24年3月期	—	1.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	6.0	510	17.5	360	87.8	250	180.7	5.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	42,620,172 株	23年3月期	42,620,172 株
24年3月期2Q	194,101 株	23年3月期	191,961 株
24年3月期2Q	42,427,472 株	23年3月期2Q	42,435,125 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

連結地域区分別売上高表

区 分	当第2四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		前第2四半期連結累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
国 内	3,844	43.6	4,017	50.2	△173	△4.3
海 外	4,978	56.4	3,977	49.8	1,000	25.2
北 米	971	11.0	939	11.8	31	3.4
アジア	3,165	35.9	2,448	30.6	716	29.3
中近東・ロシアCIS	288	3.2	230	2.9	58	25.2
その他	553	6.3	359	4.5	194	54.1
合 計	8,823	100.0	7,995	100.0	827	10.4

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）における当企業グループを取り囲む事業環境は、東日本大震災による電力制限やサプライチェーン問題、欧州債務危機と北米経済のもたつき、歴史的円高基調の長期化、中国政府の金融引き締めなど様々な情勢変化がありましたものの、世界の建設機械市場は、中国市場の変調を除き、概ね回復基調のまま推移致しました。

このような情勢の下で当企業グループでは、中長期成長戦略である新興国市場開拓を進める一方、内製化による社内付加価値創造とコストダウンや販売価格見直しなど業績回復に向けた取組みを進めて参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、アジア等の新興国市場向け販売を拡大し、前年同期比10.4%増の88億2千万円とすることが出来ました。利益面につきましても、営業利益を前年同期比3.5倍の3億4千万円、経常利益を前年同期比3億1千万円改善して2億7千万円、四半期純利益も前年同期比2億円改善して1億8千万円とそれぞれ黒字転換させ、増収増益を果たすことが出来ました。

連結地域区分別売上高状況につきましては次のとおりであります。

国内向け売上高は、東日本大震災の復興需要に伴う受注残が増加致しましたものの、本格的な復興工事着工は下半期以降にずれ込み、売上高は前年同期比4.3%減の38億4千万円に留まりました。

海外向け売上高は、成長著しいアジア地域を中心に新興国市場での販売を拡大し、前年同期比25.2%増の49億7千万円とすることが出来ました。

北米市場につきましては、建設機械市場全般で底堅い回復基調に入り、売上高は前年同期比3.4%増の9億7千万円となりました。

アジア市場につきましては、インドネシア並びにインドシナ半島諸国での販売が拡大基調に推移し、前年同期比29.3%増の31億6千万円とすることが出来ました。

中近東・ロシアCIS市場につきましては、中近東諸国における政情不安がありましたものの、サウジアラビア、UAE、ロシアなどで販売が回復基調に入り、売上高は前年同期比25.2%増の2億8千万円とすることが出来ました。

その他市場につきましては、オーストラリアが回復傾向に入り、中南米諸国での市場開拓が進みました結果、前年同期比54.1%増の5億5千万円とすることが出来ました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

		当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増 減	
				金 額	増減率
日 本	売上高	百万円 6,772	百万円 6,139	百万円 633	% 10.3
	営業利益	64	△214	279	—
米 国	売上高	1,018	952	66	6.9
	営業利益	7	△31	38	—
インドネシア	売上高	2,845	1,944	900	46.3
	営業利益	326	247	78	31.9
中 国	売上高	625	467	158	33.9
	営業利益	30	60	△29	△48.8
調 整 額	売上高	△2,437	△1,507	△930	—
	営業利益	△89	36	△125	—
連 結	売上高	8,823	7,995	827	10.4
	営業利益	340	98	241	246.1

日本

輸出及び海外生産製品の三国間貿易拡大等により総売上高を前年同期比10.3%増の67億7千万円に拡大するとともに、原価低減と販売価格見直しによる収益構造改革を進めました結果、営業利益は前年同期比2億7千万円増の6千万円まで改善し、黒字転換を達成することが出来ました。

海外

米国は、需要回復基調の下で総売上高を前年同期比6.9%増の10億1千万円と致しました結果、営業利益で7百万円の黒字を確保致しました。インドネシアは、国内販売が引続き拡大基調に推移し、総売上高を前年同期比46.3%増の28億4千万円まで拡大し、営業利益も同31.9%増の3億2千万円と増収増益とすることが出来ました。中国は、国内販売の伸びが鈍化し、また第三国向け輸出を拡大致しましたものの輸出採算が厳しく増収減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ1億8千万円減少し、240億5千万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が5億8千万円増加、たな卸資産が4億4千万円増加し、受取手形及び売掛金が9億2千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億8千万円増加し、174億9千万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券が評価差額金等により2億6千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億6千万円減少し、65億5千万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が2億3千万円増加、短期借入金が6億7千万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ11億3千万円増加し、105億5千万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が11億4千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ12億1千万円減少し、6億5千万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が1億1千万円増加し、その他有価証券評価差額金が1億6千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億円減少し、128億4千万円となりました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.1ポイント減少し、53.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後につきましては、世界のインフラ整備需要が中期的拡大基調にあり、また国内でも復興需要が見込まれますものの、欧州金融危機に伴う世界経済の変調リスクを払拭出来ない状況下、予断を許すことは出来ません。このような状況の下で当企業グループでは、慎重な経営に努めつつも、引続き新興国市場の積極的開拓、自助努力による内部収益構造改善、グローバル連結経営体制の強化を進め、業績向上を目指して参ります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,237,338	4,824,013
受取手形及び売掛金	5,575,373	4,646,055
商品及び製品	3,348,103	3,479,337
仕掛品	1,510,191	1,821,224
原材料及び貯蔵品	2,426,935	2,425,048
その他	218,939	306,867
貸倒引当金	△4,722	△4,713
流動資産合計	17,312,158	17,497,833
固定資産		
有形固定資産	3,544,756	3,570,231
無形固定資産	104,220	87,858
投資その他の資産		
投資有価証券	2,156,184	1,889,214
長期貸付金	5,306	4,241
その他	1,142,976	1,031,662
貸倒引当金	△25,647	△25,030
投資その他の資産合計	3,278,819	2,900,087
固定資産合計	6,927,796	6,558,177
資産合計	24,239,955	24,056,011
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,741,472	3,974,586
短期借入金	4,574,400	5,253,419
未払法人税等	62,855	117,288
引当金	50,649	52,363
その他	992,313	1,160,159
流動負債合計	9,421,691	10,557,817
固定負債		
長期借入金	1,201,525	51,858
引当金	47,177	47,847
その他	621,635	557,588
固定負債合計	1,870,338	657,294
負債合計	11,292,030	11,215,111

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,115,199	3,115,199
資本剰余金	6,361,142	6,361,142
利益剰余金	3,605,241	3,724,708
自己株式	△43,811	△44,131
株主資本合計	13,037,771	13,156,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	386,149	222,256
為替換算調整勘定	△487,638	△549,938
その他の包括利益累計額合計	△101,488	△327,682
少数株主持分	11,642	11,664
純資産合計	12,947,924	12,840,899
負債純資産合計	24,239,955	24,056,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,995,563	8,823,179
売上原価	6,146,146	6,673,096
売上総利益	1,849,416	2,150,083
販売費及び一般管理費		
運搬費	105,926	143,732
給料及び賞与	713,380	750,794
技術研究費	292,793	334,444
その他	639,040	581,019
販売費及び一般管理費合計	1,751,140	1,809,989
営業利益	98,276	340,093
営業外収益		
受取利息	8,166	4,462
受取配当金	24,869	25,704
その他	17,198	10,892
営業外収益合計	50,234	41,059
営業外費用		
支払利息	93,044	66,222
その他	87,555	35,020
営業外費用合計	180,600	101,242
経常利益又は経常損失(△)	△32,089	279,909
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,641	—
固定資産売却益	1,540	—
投資有価証券売却益	310	0
保険解約返戻金	—	3,475
移転補償金	106,460	—
特別利益合計	109,952	3,476
特別損失		
固定資産処分損	8,779	472
投資有価証券評価損	—	765
ゴルフ会員権評価損	1,100	300
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,519	—
特別損失合計	19,399	1,538
税金等調整前四半期純利益	58,464	281,848
法人税等	79,294	96,281
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△20,830	185,566
少数株主利益	1,682	2,458
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,512	183,108

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△20,830	185,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△162,068	△163,892
為替換算調整勘定	△55,678	△62,691
その他の包括利益合計	△217,746	△226,584
四半期包括利益	△238,577	△41,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△240,246	△43,084
少数株主に係る四半期包括利益	1,669	2,067

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	58,464	281,848
減価償却費	157,666	155,770
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△803	△626
製品保証引当金の増減額(△は減少)	4,520	1,714
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13,995	1,793
受取利息及び受取配当金	△33,035	△30,166
支払利息	93,044	66,222
固定資産売却損益(△は益)	△1,540	—
固定資産処分損益(△は益)	8,779	472
投資有価証券売却損益(△は益)	△310	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	—	765
ゴルフ会員権評価損	1,100	300
売上債権の増減額(△は増加)	1,340,387	865,934
たな卸資産の増減額(△は増加)	626,064	△648,266
仕入債務の増減額(△は減少)	608,494	326,312
未払費用の増減額(△は減少)	29,460	54,517
その他	△161,259	133,241
小計	2,717,037	1,209,834
利息及び配当金の受取額	36,033	27,533
利息の支払額	△91,721	△64,227
法人税等の支払額	△63,905	△58,837
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,597,443	1,114,302
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	30,000
有価証券の売却による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△127,565	△131,933
有形固定資産の売却による収入	2,012	—
無形固定資産の取得による支出	△5,200	△1,361
投資有価証券の売却による収入	300,310	1
貸付けによる支出	△800	△1,500
貸付金の回収による収入	1,764	1,761
投資活動によるキャッシュ・フロー	270,522	△103,031

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△496,674	△12,564
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△126,042	△276,042
自己株式の取得による支出	△415	△320
配当金の支払額	△63,654	△63,642
少数株主への配当金の支払額	△2,066	△2,044
その他	△15,419	△5,058
財務活動によるキャッシュ・フロー	△604,271	△359,672
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52,234	△34,923
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,211,459	616,675
現金及び現金同等物の期首残高	4,308,587	4,077,342
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,520,047	4,694,017

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。